

統計課アラカルト

”統計数字に関することならおまかせください、

＝行政資料系の巻＝

統計課アラカルトも今回で7回目を迎えることになりました。今回は行政資料係を紹介しましょう。

この係は“行政資料室、”の運営管理を担当しており、その名の通り、統計資料をはじめ各種の資料が多数集められています。毎日、公務員、教員、会社員、団体職員、学生、その他一般県民の方々から、“茨城県の人口は何人、“おらが町の男と女の人口はどのくらい”、“会社に賃上げを要求するのに茨城の平均賃金はいくら、“消費者物価指数は先月と比べてどのくらい上昇したか”とか、この資料はどうみたらよいか、これらはどのように分析したらよいかなど資料に対する指導や助言も行っており、来客の応対に忙しい日々を送っています。

夏休みの後半から2学期のはじめには、小、中学生などからの問い合わせには毎年“テンヤワンヤ”の忙しさにみまわれます。

この行政資料室には、人口、消費者物価指数、鉱工業生産指数、勤労者の平均賃金をはじめ各種の統計数字に関するあらゆる資料をとりそろえています。また、各種の専門書、教養書も多数納められており、現在の蔵書数は約3万冊です。昨年は約6,000人の方々が利用しております。

統計数字について知りたいことがありましたら、どうぞお気軽にお出かけください。簡単なことでしたら電話で問い合わせくださっても結構です。

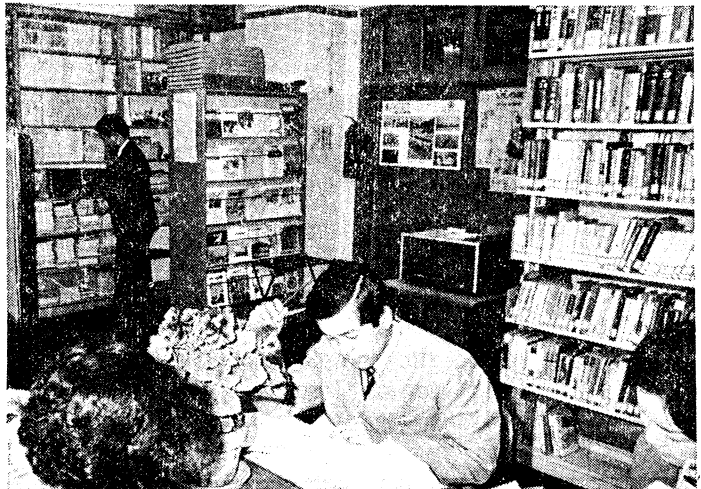
この行政資料室を総括し、管理しているのが横田正弘主査兼行政資料係長。市内千波町から“ゆっくり歩こう、をモットーにして20分程度。統計と知り合ってから12年、現在の仕事は7年とのこと。「統計とは平均であり、分布であり、流れである」と考える。そして「もろもろの社会事象などを客観的にみることが出来る利点がある」というのが本人の

☆ これらの貴重な統計数字の、ほとんどのものが統計調査員のみなさんに集取していただいた資料の集計です。統計調査員が訪問したときは調査にご協力をお願いいたします。

弁。また、現在の仕事に対する抱負は、最新資料を含めての保有資料の充実強化、応接態勢の濃密化とのことで、大いに張りきっている。趣味は、多種多様でありなかでも俳句は、梅香社の同人とのこと。その他に油絵、写真等の方もなかなかのものである。仕事に限らず何事についてもなかなか理論家である。

那珂郡大宮町からバスで通ってくるのが大内公一主幹。現在の仕事は7年、主に資料の受け付け、収集、閲覧者への指導助言に当たっている。いつもおち着きのある温情家でパイプで一服するところは大変様になっている。趣味は、盆栽、詩吟であり、詩吟の方は師匠になれる程とのこと？

市内河和田町からバスで元気に通ってくるのが、臨時職員の長谷川雅子文史。何せ小世帯であるので来客の応対に忙しい毎日である。資料の貸し出しなどの職務を受け持っている明朗な愛くるしい娘さんである。今年の春に短大を卒業してすぐこの行政資料室に勤め頑張っている。彼女のチャーミングな笑顔のせいか最近では当室を利用する独身男性が急激に増えたとのこと。貴男も一度訪ずれてみたらいかが。ただし、理想の男性はヒューマニストで正義感のある人とのことである。趣味は、音楽、スキー、水泳、スケッチ旅行、ETCなどとのこと。またエレクトーンの魅力にひかれており、腕前の方はすぐにも先生になれるとのことである。



TEL (内線) 427番